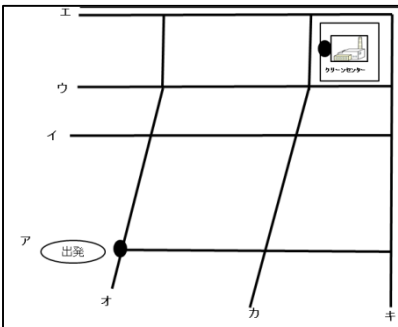
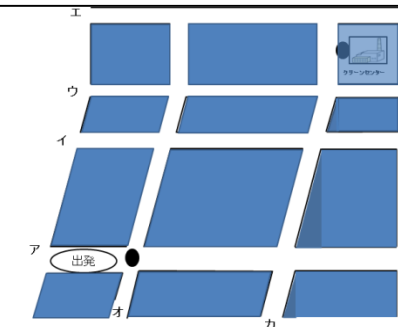
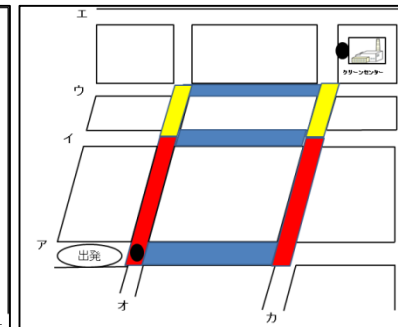


効果のあった実践事例

学年 第4学年 教科等 算数科
単元・内容 「垂直・平行と四角形」図形や辺の長さに着目させた図形の理解
○ ねらい ・地図上から平行四辺形や長方形を見付け、図形の性質を使って道のりについて考えることができる。 ○ 手立て 道路を視覚化して、図形を理解させる。    ①道路を視覚的に捉えにくい児童 →道路を直線で示した図 ②四角形が捉えにくい児童 →道路以外を塗りつぶした図 ③平行四辺形の辺の長さの特徴が理解しにくい児童 →道路を塗りつぶした図 ○ 児童の変容 1 地図上から既習の図形である平行四辺形や長方形を見付けることが難しいと感じる児童が多かったが、3つの図を用意することで、それぞれのつまずきにに応じて視覚的に図形を捉えることができた。 2 ③は、同じ辺の長さに着目できるように、色分けをしたものであるが、児童の発表の中から同じ辺に色を付けた。児童用のプリントにも同じように、色分けをさせることで、理解が深まった。 ○ 実践者のコメント 図形の特徴が分かるように視覚的に示すことで、児童の理解が深まった。それだけでは理解できない児童には、色分けをして線を引かせることや、辺の長さが同じであることを定規で確かめさせる活動も伴いながら理解を深めていく必要がある。